

# スポーツ史 学会だより

第143号

2021年12月14日発行

スポーツ史学会事務局

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1

東洋大学総合スポーツセンター

谷釜研究室内

TEL : 03-6454-3182

E-mail : tanigama@toyo.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

## I. 事務局報告

### 1. 会況報告(2021年12月1日現在)

1) 会員総数227名

(正会員207名、学生会員20名)

賛助会員1機関1名

2) 会費納入状況

2022年度納入者数 4名

2021年度納入者数 162名

2020年度納入者数 212名

2019年度納入者数 213名

2018年度納入者数 214名

3) 今年度会費収入総額 1,211,000円

### 2. 会費納入のお願い

今年度会費(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口10,000円以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には一部会員サービスを停止させていただきます。なお、会費納入状況等についてのご質問がある場合は、事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

### 3. スポーツ史学会第35回大会の開催

本年度の学会大会は12月4日(土)～5(日)に、オンライン形式で開催されました(当番校: 日本体育大学 福井元会員)。

第1日目は5題の一般研究発表があり、続いてシンポジウム「大学を拠点としたスポーツの歴史資料の活用—教育・研究への還元に向けた課題—」が開催されました。綿貫慶徳会員の司会のもと、松浪健四郎氏(日本体育大学理事長)による基調講演、そして宮原柔太郎氏(日本体育大学図書館)、富田幸祐氏(日本体育大学オリンピックスポーツ文化研究所)による実践報告が行われました。その後、フロアからの質疑応答も含めて活発な議論が展開され、盛会のうちに終了しました。

第2日目は、8題の一般研究発表がありました。終了後、総会が開催されました。

### 4. 令和3年度総会について

令和3年度総会が次の通り開催されました。

期 日: 12月5日(日) 16時00分～17時00分

形 式: オンライン会議(Zoom)

#### 1. 会長挨拶

#### 2. 議長選出

瀧元誠樹理事長が議長に選出されました。

#### 3. 報告事項

##### 1) 会況報告

事務局より、2021年8月31日現在の会況が報告されました。

## 2) 令和3(2021)年度 事業・会計中間報告

総会配布資料に基づいて、事務局より今年度の事業・会計中間報告が行われました。

## 3) 令和3(2021)年度学会賞について

学会賞選考委員会の矢野委員長より、委員会にて協議の結果、今年度は学会賞・奨励賞ともに該当なしである旨が報告されました。

## 4) 編集委員会報告

編集委員長より、『スポーツ史研究』第35号を今年度末発刊予定で編集を行っていることが報告されました。また、巻末に「会員活動報告」を載せるため、その用紙を「学会だより」(143号)に同封するので、記入の上、返送願いたい旨の報告がありました。

## 5) 会報『ひすぼ』について

企画担当理事より、今年度は109号から111号を発行予定で、現在110号まで発行済み、111号は年度内に発行予定の旨、報告がありました。

## 6) 次期学会大会について

企画担当理事より、第36回大会は理事会で協議の結果、奈良教育大学(井上邦子会員)での開催に決定し、会期は2021年12月3日(土)～4日(日)を予定している旨の報告があり、続いて当番校の井上会員より挨拶がありました。

## 7) その他

### (1) 事務局の移転について

事務局より、令和4(2022)年度4月から事務局が十文字女子大学(神田俊平会員)に移転する旨が報告されました。

## 4. 審議事項

### 1) 令和2(2020)年度 事業・決算報告について

事務局より、事業・決算報告について総会資料に基づき原案が示され、続いて井上監事による監査報告が行われました。審議の結果、原案通り承認されました。

### 2) 令和4(2022)年度 事業・予算案について

事務局より、令和4(2022)年度の事業計画案、予算書案、学会活動準備金収支予算書案について、総会資料に基づいて説明があり、審議の結果、原案通り承認されました。

## 3) その他

(1) 新規事業「スポーツ史学会研究助成」(仮称)について

瀧元理事長より、新規事業となる「スポーツ史学会研究助成」(仮称)について、総会資料に基づき、令和5(2023)年度の新設に向けて理事会において研究助成制度を検討していく旨の説明がなされました。審議の結果、原案通り承認されました。

(2) メーリングリスト作成および会員情報の集約について

瀧元理事長より、メーリングリストの作成と会員情報の集約について、総会資料に基づき、理事会において作業を進めていく旨の説明がなされました。審議の結果、原案通り承認されました。

## 5. 閉会の挨拶

## 5. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

### 【理事会】

第158回 2021年12月4日 オンライン形式にて開催

## 6. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2021年10～12月号が事務局に届いております。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。

なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp>からも閲覧可能です。

## 7. 「会員活動報告」の連絡について

『スポーツ史研究』第35号の巻末に掲載する「会員活動報告」の用紙を同封しますので、令和3(2021)年の研究活動報告(「修士・博士論文報告」は令和2年度を含む)をご記入のうえ、2022年1月31日までに事務局まで提出(メール送信で構いません)下さいませようお願いいたします。

## 8. スポーツ史学会学会賞の推薦について

令和4年度スポーツ史学会学会賞の候補論文(著書)の推薦依頼書を同封しますので、ふるってご推薦下さい。学会賞、奨励賞ともに、所属機関の異なる2

名以上の会員の連名で推薦することができます。推薦の際には、応募書式(推薦書式)に沿って作成した推薦書を、2022年2月末日までに事務局にご提出下さい。

今回は2021年1月1日から12月31日までに刊行された『スポーツ史研究』、その他の学術雑誌の論文および学術的著書が対象となります。著者(ファースト・オーサー)が本学会員で、内容がスポーツ史に関連するものに限られます。

## 9. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度にスポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆様にお届けしました。

事務局に若干の余部がございます。ご希望の会員にお分けしますので、事務局までご連絡ください。送料は事務局で負担いたします。

## 10. スポーツ史学会第36回大会について

第36回大会は、以下の通り開催予定です。

期 日： 2022年12月3日(土)～4日(日)

会 場： 奈良教育大学 (井上邦子会員)

## 11. メーリングリスト作成および会員情報の集約について

この度、スポーツ史学会ではメーリングリスト作成及び会員情報の集約を行うこととなりました。つきましては、下記のいずれかの方法により会員情報をご登録下さい。ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

1) 本学会だよりと同封の文書を確認のうえ、QRコードを読み取りGoogle Formsに入力



2) 本学会だよりと同封の「会員情報登録用紙」に入力した情報を事務局にe-mailで送信ないし郵送

3) スポーツ史学会HPから登録フォーム(Google Forms)に入力

## II. 理事会報告

### 第158回理事会

第158回理事会が次の通り開催されました。

期 日： 12月4日(土) 10時00分～11時40分

形 式： オンライン会議(Zoom)

出席者： 松本芳明(会長)、瀧元誠樹(理事長)、  
鶴木千加子、市場俊之、佐々木浩雄、林 郁子、  
福井 元(学会大会担当)、松浪 稔、矢野裕介、  
谷釜尋徳(事務局)

欠席者：なし

議長： 瀧元誠樹

### 1. 議事録確認

1) 第157回理事会議事録の確認

### 2. メール審議

1) 会員の入会について  
2) 総会の議案・資料等について

### 3. 報告事項

1) 会況報告  
2) 会員の所属変更について  
3) 「スポーツ史研究」第35号の編集進捗状況について  
4) 「ひすぼ」第111号の編集進捗状況について  
5) 次期学会大会(第36回)について  
6) その他

### 4. 審議事項

1) 2021年度 総会の進行について  
2) 年間計画について  
3) その他  
(1) 次期事務局候補者の選出について

### 5. その他

## III. 編集委員会報告

### 1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2022年3月末発行予定の第35号の編集作業を進めています。

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認下さい。

### 投稿先は、次の通りです。

〒480-1197

愛知県長久手市片平二丁目9

愛知淑徳大学 健康医療科学部 矢野研究室  
スポーツ史研究編集委員会 宛

yyano@asu.aasa.ac.jp

## IV. 会報『ひすぽ』報告

### 1. 『ひすぽ』特集テーマの募集について

現在、第112号以降の特集テーマを募集しておりますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

## V. 会員の動向

### 1. 入会・退会

<入会>

次の方の入会が承認されました。(敬称略)

正会員

石塚 創也(日本スポーツ協会)

### 2. 所属変更について

以下の会員から所属変更のご連絡がありました。

(敬称略 ( ) 内は新所属先)

國木 孝治(九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科)

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、必ず事務局までご一報ください。所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。

なお、会員の皆様への諸連絡を円滑にするために、メールアドレスに変更があった方は、必ず事務局までお知らせ下さい。

### 3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の方は、会員資格を喪失します。

現在、3名の方が、2019年度以降の年会費未納となっております。2021年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当する会員は至急会費の納入をお願いいたします。

また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。

学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いいたします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いいたします。